

# 福寿橋

橋梁形式：一径間ワーレン鋼構橋  
架設年次：昭和4年9月  
所在地：江東区平野四丁目から  
千石一丁目間大横川に架かる  
橋長：39.1m  
幅員：13.5m  
指定：江東区都市景観重要建造物



現在の様子



現在の様子



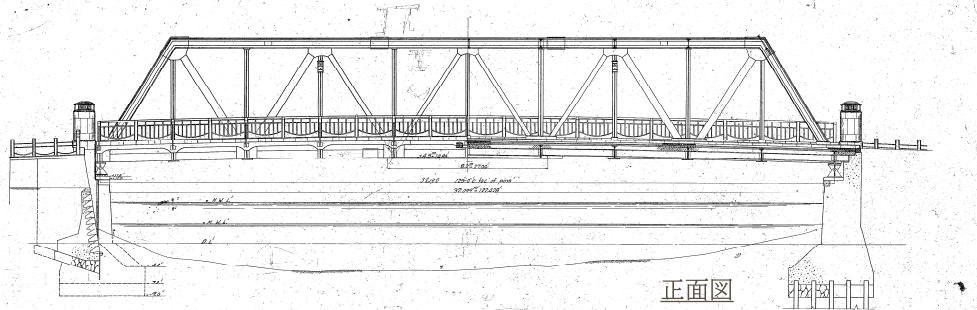
昭和58年撮影

福寿橋は、大正12年に発生した関東大震災の復興事業の一環として架けられた「震災復興橋梁」の一つです。

トラスとは、まっすぐな直線部材で構成された骨組構造で、主構造にトラスを用いた橋梁をトラス橋と呼びます。

ワーレントラス（トラス=構）は、トラスの一種で、斜材の傾斜の方向を交互に変えたトラスのことです。James Warrenが発案したことから、この名称で呼ばれています。

側面図



正面図

## 説明板設置工事について

令和5年に関東大震災から100年を迎えるにあたり、過去の記憶や震災復興橋梁の歴史を広く区民に継承し、防災意識の啓発を図るために震災復興橋梁の説明看板を設置しました。

また、福寿橋は江東区都市景観重要建造物に指定されていることもあり、景観に配慮し、コンクリートに現在の高欄と同様の模様を施し、景観の調和を図りました。

